
赤潮情報（定期赤潮調査結果）

鹿児島県水産技術開発センター
 令和4年6月23日

八代海赤潮情報No.2

[1] 6月22日の八代海広域調査結果

(1) 赤潮生物の出現状況

通常検鏡により、調査定点で有害種は確認されませんでした。熊本県大築島の西に着色がみられ、コクロディニウム ポリクリコイデスが201細胞/ml（表層）確認されました。

濃縮検鏡により、シャットネラ属が全調査定点で、コクロディニウム属が3定点で確認されました。

珪藻類は調査定点A、Kは多く、2はやや多く、他は少ない状況でした。

(2) 海況

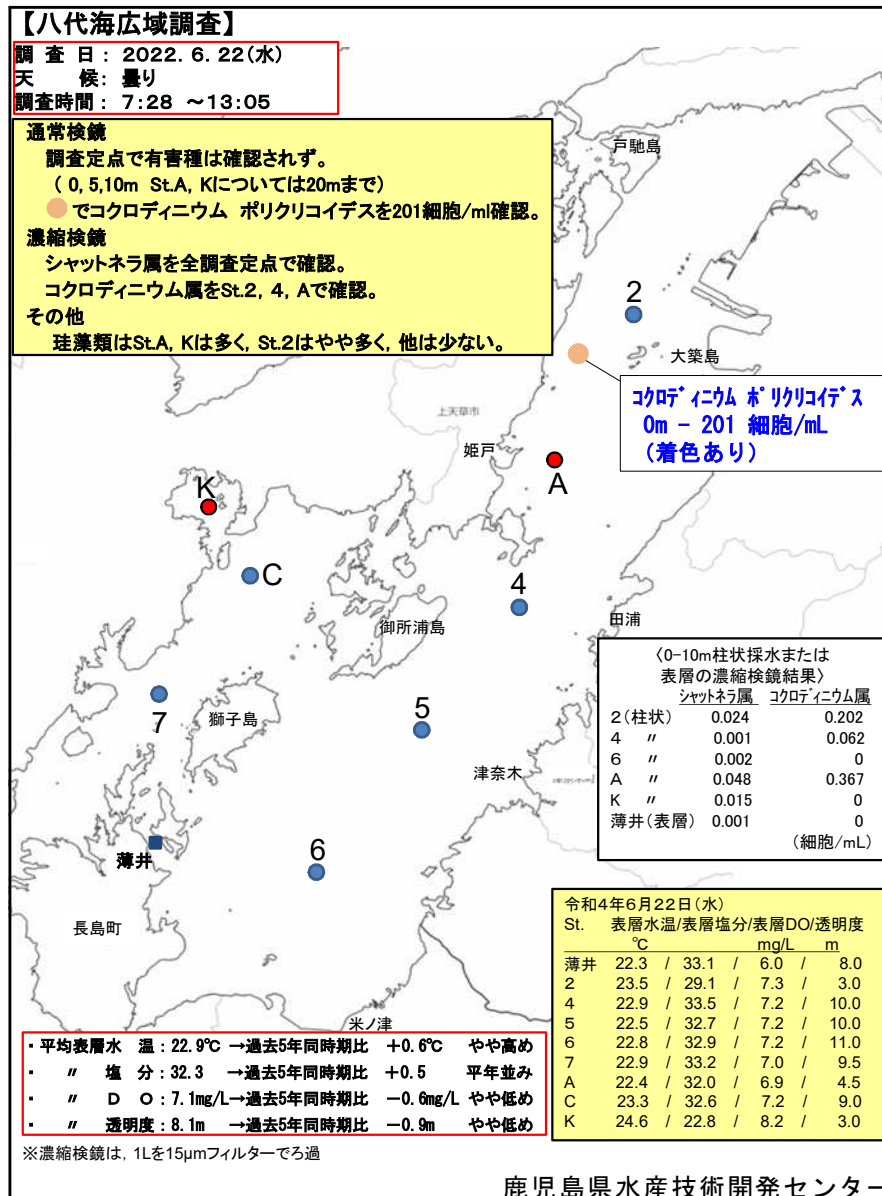
表層水温は八代海全域で22.3~24.6℃で過去5年同時期より+0.6℃でやや高め、塩分は22.8~33.5で平年並み、透明度は3.0~11.0mでやや低めとなっています。

表層水温：平均 22.9℃ (22.3℃)

表層塩分：平均 32.3 (31.8)

透明度：平均 8.1m (9.0m)

※()は過去5年同時期調査における平均値



[2] 今後の赤潮発生の予想

今回の調査で、有害種であるシャットネラ属やコクロディニウム属が確認されています。

現在、競合種である珪藻類は一部では多いものの、他は少ない状況であり、今後の状況によっては有害種が増殖する可能性がありますので注意が必要です。

各漁協・養殖業者におかれましては、定期的な検鏡等を継続し、十分な監視をお願いします。

赤潮情報(携帯用)：<http://kagoshima.suigi.jp/akashio/index.shtml>

赤潮凶鑑(パソコン用)：<http://kagoshima.suigi.jp/akashio/newHP/index.html>

